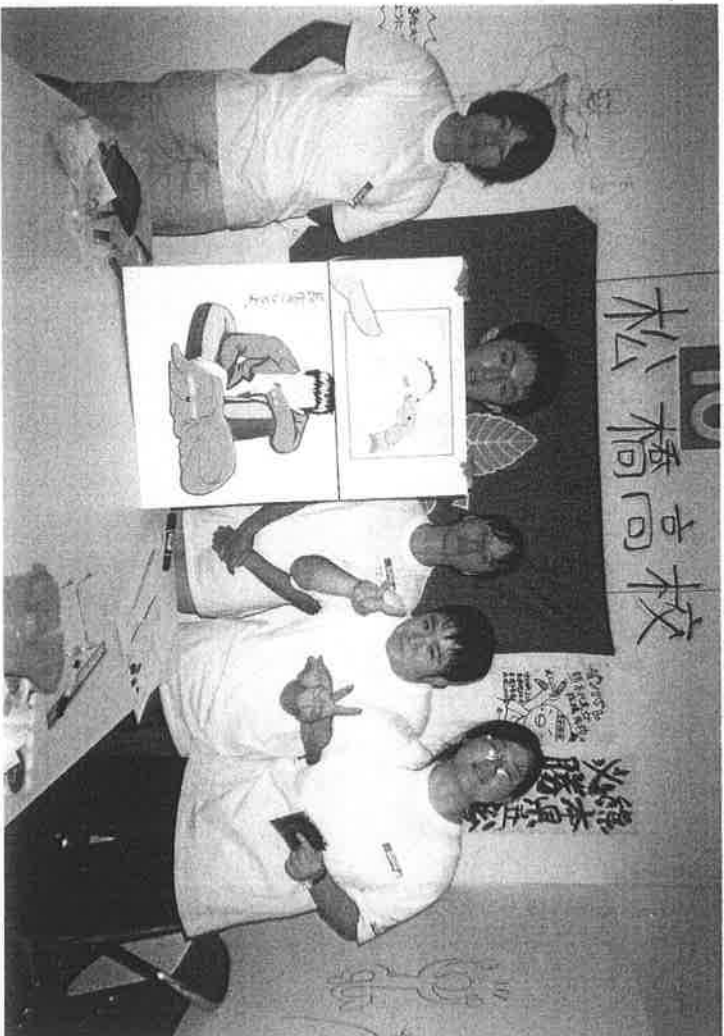


県立松橋高等学校漫画研究部

(年間文化活動部門)



概要

設立年月 昭和54年

代表 表 校長 石田禮介(いしだ れいすけ)

会 員 数 17人

住 所 下益城郡松橋町大字久具新開300

主な活動地 松橋町

県立松橋高等学校漫画研究部は昭和五十四年に生徒たちによる同好会として発足し、昭和六十一年に現在の漫画研究部に昇格。部員たちは、

日頃から各自が描いた作品を発表し合う中で切磋琢磨し、漫画制作に関する技術の向上を目指すとともに、同校文化祭などにおける作品発表や年二回の作品集の発行を通して、地域に高校生としてのメッセージを送り続けている。

また、平成十年から、同校「保健だより」のイラストを担当し、平成十一年度熊本県高等学校保健会主催の「保健だよりコンクール」で第一位を獲得。同作品は、全国の学校に紹介され、漫画による分かりやすい健康教育の手法の一例として取り上げられた。

平成十二年には、第九回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）において、最優秀賞を受賞。全国から三十七校の参加があり、同校は今回が初めての参加で、第一次、第二次の競技を勝ち抜き、決勝戦のテニア「十七歳」で頂点を極めた。同大会での最優秀賞受賞は、本県の高등학교としては初めての快挙である。大会審査会から「レベルの高い作品が並んで選考が大変だったが、最優秀作はすんなり決まった。それだけの力のある作品」との講評を得たところであり、今後も同校漫画研究部のさらなる活躍が期待される。

これまでの活動歴

平成五十四年	漫画同好会として発足
昭和六十一年	漫画研究部に昇格
昭和六十二年	各学期毎に二回の作品集の発行を始める 学校の文化祭で作品を発表
平成十年	学校の「保健だより」のイラストを担当
平成十一年	熊本県高等学校「保健だよりコンクール」第一位
平成十二年	全国高等学校漫画選手権大会 最優秀賞受賞